

部局名	子ども部	所属名	元気子ども課	所属長名	武藤 州範	電話	483-1151 内線2260
-----	------	-----	--------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3418	事務事業名称	幼稚園教育総務事業				短縮コード	経常	3418	臨時	3419	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	04	幼稚園費	目	01	幼稚園費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市私立幼稚園補助金交付規則, 八千代市私立幼稚園等保育料の補助に関する就園奨励金規則, 八千代市立幼稚園管理規則								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和47年に国の幼稚園就園奨励事業が創設されたことに伴い, 八千代市私立幼稚園補助金交付規則が施行された。また, 公立幼稚園が1園しかないため, 私立幼稚園との公平性を確保する目的で, 八千代市私立幼稚園等保育料の補助に関する就園奨励金規則が昭和57年に施行された。私立幼稚園幼児教育振興費補助金は, 健全な私立幼稚園が園の方針, 特色, 教育内容で互いに充実が図れるような環境にするため, 各園に補助をすることにより保護者負担の軽減と, 幼児教育における安定した教育環境の維持を図るためにはじめられた。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	02	人間尊重都市をめざして					
社会全体では少子化傾向にあるが, 八千代市は幼稚園の園児数が増加傾向にあり, 幼稚園に就園させたい保護者の希望は多い。また, 今だに雇用の安定, 所得の伸びが懸念される中で, 保護者の経済的負担が大きくなっている。					大項目 (節)	01	学校教育					
					中項目	01	幼児教育					
					小項目 (施策)	01	幼児教育の充実					
					細項目	01	幼稚園の充実					
						02	就園機会の拡充					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	<ul style="list-style-type: none"> 公立・私立幼稚園に就園している市内の満3歳～5歳児の保護者, 私立幼稚園等に就園している市内の3歳～5歳児の保護者に対するの補助。 八千代市内の公認私立幼稚園に対して, よりよい教育環境を整備するための補助。 						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: 保護者にパンフレットを配布し, 申請を受け, 該当者に就園奨励費補助金及び就園奨励金の支給をした。市内全ての公認幼稚園に対して, 要綱に基づき①教材費②教育研究・研修費③施設設備費④事務費の補助金を交付した。						
	※平成19年度に計画していること: 18年度と同じ。						
意図 (何を狙っているのか)	私立幼稚園等への就園促進と, 保護者の経済的負担の軽減, 教員の資質向上, よりよい教育環境の整備がされること。補助金を交付することにより, 上記の教育振興と教職員の資質向上を図りつづけるようにすること。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	保護者の経済的負担が軽減される。幼児教育の普及・充実が図られる。						
区分		単位	17年度	18年度		19年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	公立, 私立幼稚園に就園している, 園児の保護者の数	人	3,971	3,900	4,056	3,900
	指標2	私立幼稚園等に就園している, 園児の保護者の数	人	4,183	4,270	4,241	4,330
	指標3	幼稚園数	園	18	18	18	18
活動指標	指標1	補助金を支給した保護者の数	人	2,471	2,906	2,578	2,565
	指標2	奨励金を支給した保護者の数	人	4,183	4,270	4,241	4,330
	指標3	補助金の総額	円	14,161,446	14,825,000	14,325,935	15,180,000
成果指標	指標1	就園を継続できた数	人	3,971	3,900	4,056	3,900
	指標2	就園を継続できた数	人	4,183	4,270	4,241	4,330
	指標3	対象総事業費/補助金の総額	%	100	100	100	100
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3418	事務事業名称	幼稚園教育総務事業		所属名	元気子ども課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	52,397	46,155	47,095	47,272
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	238,604	264,357	254,578	273,985
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		幼稚園就園奨励費補助金、私立幼稚園等就園奨励金の支給、私立幼稚園幼児教育振興費補助金の交付		消耗品費、使用料及び賃借料、補助金		幼稚園就園奨励費補助金、私立幼稚園等就園奨励金の支給、私立幼稚園幼児教育振興費補助金の交付	
人件費(B)		千円	11,432.8	8,649	18,042.8	15,625.7	
トータルコスト(A)+(B)		千円	302,433.8	319,161	319,715.8	336,882.7	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、就園機会の拡充を図ることにより、幼児教育の充実を図る。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	今後も家庭の経済的負担を軽減することを目的に継続する。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	補助金支給事務は民営化できないと思われる。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	当初の設定と変わっていないので現状のままでよい。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	幼稚園就園奨励費補助金、私立幼稚園等就園奨励金事業は、住民異動情報及び市民税課税情報が随時必要なため、民間委託にはなじまない。補助金事務のみを臨時職員で対応するのは事務効率が悪くなる。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	2		実施主体 (所管部署)			
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3418	事務事業名称	幼稚園教育総務事業			所属名	元気子ども課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			幼児教育の普及・充実に実効のある事業で、今後も持続的な取り組みを要するため。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>						経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	幼稚園児数は増加傾向にあり、補助金の増額も予定されていることから、今後経費も増加していく。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
社団法人八千代市私立幼稚園協会及び八千代市私立幼稚園連盟から、幼稚園等就園奨励金の増額に関する陳情があり、議会において採択され、結果19年度予算では当該補助金の増額を措置した。	

所属長コメント	八千代市次世代育成行動計画の実現に向け、子育てしやすい街を目指し、現状の補助制度については継続し、引き続き保護者の経済的負担の軽減と、幼児教育の充実を図っていきたい。	
評価調整委員会意見	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。